

2026年 3月 24日  
株式会社住化分析センター

## 日本細胞外小胞学会より当社の細胞外小胞（EV）品質評価手法が学術的観点から推奨

株式会社住化分析センター（代表取締役社長：富ヶ原 祥隆）は、このたび、日本細胞外小胞学会（[JSEV](#)、理事長 落谷 孝広）より、当社が実施する細胞外小胞（EV）の品質評価手法について、学術的合理性を有する品質評価手法の一つとして推奨を受けました。

EV は、あらゆる細胞から分泌され、タンパク質や核酸など様々な生体分子を内包し、生体内の細胞間コミュニケーションツールとして機能しています。

また、EV は、医薬品分野においてがんや中枢神経系などの特定の疾患に関わるバイオマーカーとして研究開発が活発に進められているほか、EV 自体の治療効果やドラッグ・デリバリー・システム（Drug Delivery System, DDS）の薬物送達担体としても近年注目を集めています。さらに、医療分野における診断や化粧品、食品など様々な分野で急速に産業利用が進んでいます。

当社は、2016 年から EV の単離・精製や粒子数・粒子径分布など品質評価技術の開発に着手し、これまで主にアカデミアや製薬企業などに多様な研究支援サービスを提供してきました。また、近年の世界的な研究動向・ニーズに対応して、ナノ粒子軌跡解析法（NTA 法）による EV の粒子数・粒子径分布、表面電荷（ゼータ電位）の計測や製品の迅速微生物検査など、EV の評価項目を拡充しました。

2025 年 10 月に開催された第 12 回日本細胞外小胞学会学術集会において、当社は「細胞外小胞（EV）の産業利用に向けた品質特性解析の検討」と題するポスター発表を行いました。その後、当社が実施する EV 品質評価手法について日本細胞外小胞学会で審議が行われ、下記項目が学術的合理性を有する品質評価手法であるとして推奨されました。

- ・細胞外小胞（EV）の表面マーカー（CD9、CD63）解析
- ・粒子数測定および粒子径分布測定

当社は、今回の推奨を受け、これからも、新薬候補品の品質評価のほか、化粧品、食品分野などに用いる培地や機器・器材の EV を用いた性能評価、医療分野で治療に供される製品の評価など、お客様の EV に関わる多様なニーズにお応えしてまいります。

### 【当社 EV 品質評価サービスの特長】

- 当社が提供できる品質評価として以下の項目があります。  
粒子数・粒子径分布、表面電荷（ゼータ電位）、迅速微生物検査、表面タンパクマーカー、内包物（タンパク質、miRNA 等）、不純物等
- 日本細胞外小胞学会より推奨された EV 品質評価手法に基づき、EV 品質評価サービスを提供します。

- 品質管理体制として ISO9001 品質マネジメントシステムを適用したデータを提供します。
- 医薬品開発の分析受託機関として長年培ってきた技術と豊富な経験に基づき、お客様の EV の特徴を考慮した特性解析や試験法開発などもご要望に応じて実施します。

関連サービスホームページ；

<https://www.scas.co.jp/services/lifescience/pharmaceuticals/evquality.html>



【本件に関する問合せ先】

株式会社住化分析センター

医薬事業部

TEL : 06-6202-1801

Email : [Hiyakumarketing1@scas.co.jp](mailto:Hiyakumarketing1@scas.co.jp)

以上